
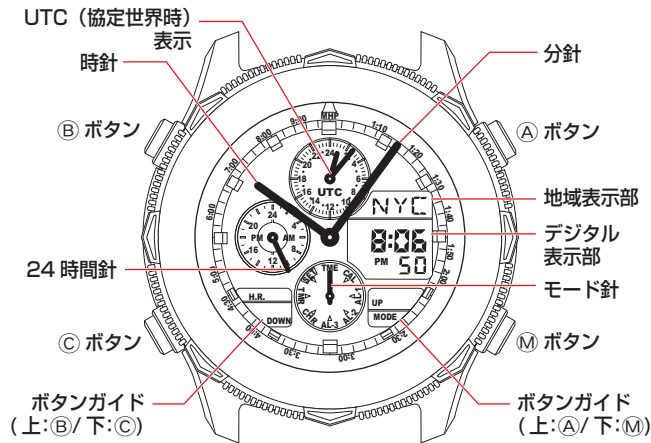


C300 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  C300 取扱説明書

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

デジタル表示の時刻を合わせる

・アナログ表示の時刻 (時計針 / 分針 / 24 時間針)、UTC 表示は、デジタル表示の時刻と連動します。

1. M ボタンをくり返し押して、モード針が「TME」を指すようにする

・デジタル表示部が、針に隠れて見えにくいときは、B ボタンを 2 秒間以上押して、針を一時的に 12 時の位置に移動させることができます。もう一度 B ボタンを押すと戻ります。

2. A ボタンまたは C ボタンをくり返し押して、地域表示部に「TYO」を表示させる

・「TYO」以外を選んだときは、現地の時刻に合わせて。

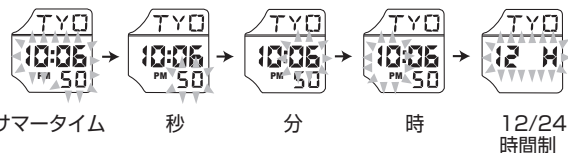
3. M ボタンを引き出す

デジタル表示部が点滅します。

・点滅している部分が、時刻合わせの対象です。

4. A ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

・A ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



5. C ボタンを押して合わせる

選んだ対象の表示が変わります。

・「秒」を選んでいるとき: 時報に合わせて C ボタンを押します。

・「分」 / 「時」を選んでいるとき: C ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

・12 時間制表示では、「AM」または「PM」が表示されます。

6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を合わせる

7. M ボタンを押し込んで終了する

カレンダーを合わせる

この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2099 年 12 月 31 日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. M ボタンをくり返し押して、モード針が「CAL」を指すようにする

デジタル表示部にカレンダーが表示されます。

・デジタル表示部が、針に隠れて見えにくいときは、B ボタンを 2 秒間以上押して、針を一時的に 12 時の位置に移動させることができます。もう一度 B ボタンを押すと戻ります。

2. A ボタンまたは C ボタンをくり返し押して、地域表示部に「TYO」を表示させる

・「TYO」以外を選んだときは、現地のカレンダーに合わせて。

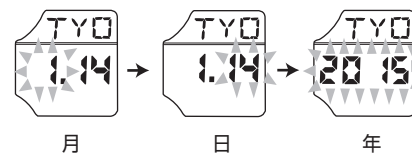
3. M ボタンを引き出す

デジタル表示部が点滅します。

・点滅している部分が、カレンダー合わせの対象です。

4. A ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

・A ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



5. C ボタンを押して合わせる

選んだ対象の表示が変わります。

・C ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を合わせる

7. M ボタンを押し込んで終了する

・曜日は自動で設定されます。

アナログの時刻とデジタルの時刻を入れ替える

1. M ボタンをくり返し押して、モード針が「TME」または「CAL」を指すようにする

2. A ボタンと C ボタンを同時に押す

デジタル表示部の時刻とアナログ表示の時刻 (時計針 / 分針 / 24 時間針) が入れ替わります。

ワールドタイムを使う

- ① **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「TME」または「CAL」を指すようにする
 - ・「CAL」を選んだときは、カレンダー表示になります。
- ② **A** ボタンまたは **C** ボタンを押して、地域を選ぶ
選んだ地域の時刻またはカレンダーが、デジタル表示部に表示されます。

地域一覧

略称	代表地域	時差	略称	代表地域	時差
UTC	協定世界時	0	TYO	東京	+9
LON	ロンドン		SYD	シドニー	+10
PAR	パリ	+1	NOU	ヌーメア	+11
ROM	ローマ		AKL	オークランド	+12
CAI	カイロ	+2	HNL	ホノルル	-10
IST	イスタンブール		ANC	アンカレジ	-9
MOW	モスクワ	+3	LAX	ロサンゼルス	-8
KWI	クウェート		DEN	デンバー	-7
DXB	ドバイ	+4	CHI	シカゴ	-6
KHI	カラチ		MEX	メキシコシティ	
DEL	ニューデリー	+5.5	NYC	ニューヨーク	-5
DAC	ダッカ	+6	YUL	モントリオール	
BKK	バンコク	+7	CCS	カラカス	-4
SIN	シンガポール		RIO	リオデジャネイロ	
HKG	香港	+8	BUE	ブエノスアイレス	-3
PEK	北京				

- ・一覧表の時差は、UTC（協定世界時）からの時差です。
- ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

サマータイムを表示させる

ワールドタイムの地域ごとにサマータイムを表示させることができます。

「デジタル表示の時刻を合わせる」の手順 2 で地域を選び、手順 5 で、「SUMMER」を表示させます。

- ・地域として「UTC」を選ぶと、サマータイムを表示させることはできません。
- ・サマータイムを表示させないときは、同じ手順で、「SUMMER」の表示を消します。



表示する地域を設定する

表示される地域名をスキップさせることができます。

- ① **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「SET」を指すようにする
- ② **M** ボタンを引き出す
デジタル表示部が点滅します。
- ③ **A** ボタンをくり返し押して、地域を選ぶ
- ④ **B** ボタンを押して設定する



SET:
地域が表示
されます。



OFF:
地域が表示され
ません。

- ・④ ボタンを押すごとに、「SET」と「OFF」が切り替わります。
 - ・③ ボタンを押すと、サマータイムの設定 (ON/OFF (OF)) を切り替えることができます。
5. 手順 3、4 をくり返し、他の地域を設定する
 6. **M** ボタンを押し込んで終了する
 - ・モードを「TME」または「CAL」にします。

アラームを使う

地域の時刻に合わせてアラーム音が鳴ります。

- ・アラームは「AL-1」、「AL-2」、「AL-3」にそれぞれ設定することができます。

- ① **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「AL-1」、「AL-2」または「AL-3」を指すようにする
現在設定されている地域とアラーム時刻が表示されます。
 - ・デジタル表示部が、針に隠れて見えにくいときは、② ボタンを 2 秒間以上押して、針を一時的に 12 時の位置に移動させることができます。もう一度 ② ボタンを押すと戻ります。
- ② **A** ボタンまたは **C** ボタンを押して、地域を選ぶ
- ③ **M** ボタンを引き出す
デジタル表示部が点滅します。
 - ・点滅している部分が、アラーム設定の対象です。
- ④ **A** ボタンをくり返し押して、設定する対象を選ぶ
 - ・④ ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



アラーム ON/
OFF (OF)

アラーム時

アラーム分

- ⑤ **C** ボタンを押して設定する
 - ・「ON」 / 「OF」を選んでいるとき：⑤ ボタンを押すごとに切り替わります。
 - ・「時」 / 「分」を選んでいるとき：⑤ ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を設定する
7. **M** ボタンを押し込んで終了する
 - ・モードを「TME」または「CAL」にします。

アラーム音をとめるときは

いずれかのボタンを押します。

- ・アラーム音は、15 秒間鳴ります。

クロノグラフを使う

1/100 秒単位、最大 24 時間まで計測できます。

- ・他のモードに切り替えても計測は継続されます。

- ① **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「CHR」を指すようにする
デジタル表示部に、クロノグラフが表示されます。
 - ・デジタル表示部が、針に隠れて見えにくいときは、② ボタンを 2 秒間以上押して、針を一時的に 12 時の位置に移動させることができます。もう一度 ② ボタンを押すと戻ります。
2. クロノグラフを使う

スタート/ストップ：④ ボタンを押します。

- ・計測中に ③ ボタンを押すと、経過時間（スプリットタイム）が 10 秒間表示され、「SPLIT」が点滅します。
- ・計測時間の「時」は地域表示部に表示されます。

リセット：ストップ中に、⑤ ボタンを押します。

- ・クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TME」にします。

タイマーを使う

- 1分単位、最大60分のタイマーを設定することができます。
- 他のモードに切り替えてもタイマーは継続されます。

1. **M** ボタンをくり返し押し、モード針が「TMR」を指すようにする

地域表示部とデジタル表示部に、タイマーが表示されます。

- デジタル表示部が、針に隠れて見えにくいときは、**B** ボタンを2秒間以上押し、針を一時的に12時の位置に移動させることができます。もう一度**B** ボタンを押すと戻ります。

2. **M** ボタンを引き出す

デジタル表示部で動作中のタイマーが停止し、地域表示部が点滅します。

3. **C** ボタンを押して、タイマーの時間を設定する

- C** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

4. **M** ボタンを押し込む

5. **A** ボタンを押す

タイマーのカウントダウンが始まります。

スタート/ストップ：**A** ボタンを押します。

- タイマー作動中に**C** ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。

リセット：ストップ中に、**C** ボタンを押します。

設定時間が過ぎると

タイムアップ音が5秒間鳴ります。

音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

- タイマー終了後は、モードを「TME」にします。

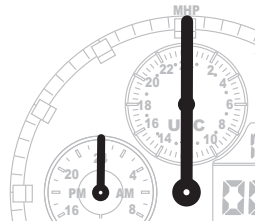
針の基準位置を修正する

1. **M** ボタンをくり返し押し、モード針が「CHR」を指すようにする

2. **M** ボタンを引き出す

UTC表示、24時間針、時針と分針が、現在の基準位置に移動します。

正しい基準位置：
すべての針が12時の位置



3. **B** ボタンをくり返し押し、修正する対象を選ぶ

- B** ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わり、地域表示部に表示されます。

「UTC」(UTC表示) → 「HR」(時針・24時間針) → 「MIN」(分針) → (始めに戻る)

4. **A** ボタンまたは **C** ボタンを押して、修正する

- ボタンを押し続けると、針が連続して回転します。

5. 手順3、4をくり返し、他の対象を修正する

6. **M** ボタンを押し込んで終了する

基準位置を修正したあとは

時刻を合わせてください。

オールリセットを行う

- 動作中のクロノグラフやタイマーはリセットされます。

1. **M** ボタンを引き出す

2. **A**、**B**、**C** ボタンを同時に押す

ボタンを離すと、液晶表示がすべて点灯します。

- 次の手順から、針の基準位置の修正をします。

3. **B** ボタンを押す

地域表示部に「UTC」と表示されて、針の基準位置が修正できるようになります。

正しい基準位置：すべての針が12時の位置

4. **B** ボタンをくり返し押し、修正する対象を選ぶ

- B** ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わり、地域表示部に表示されます。

「UTC」(UTC表示) → 「HR」(時針・24時間針) → 「MIN」(分針) → (始めに戻る)

5. **A** ボタンまたは **C** ボタンを押して、修正する

- ボタンを押し続けると、針が連続して回転します。

6. 手順4、5をくり返し、他の対象を修正する

7. **M** ボタンを押し込んで終了する

- 確認音が鳴ります。

オールリセットのあとは

時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。